

日本アニメーション史 II

科目ナンバリング ARL-208
選択 2単位

萩原 由加里

1. 授業の概要(ねらい)

日本アニメーションの歴史について、制作者と作品、そして受け手の時代による変化を取り上げていきます。過去から現代へと至る道筋を見ていくことで、現代の日本アニメーションがいかんして形成されていったのかを知るだけでなく、そしてこれからの時代にアニメーションはどうなっていくのかを考えていきます。

2. 授業の到達目標

1. 戦前と戦後における日本の、断絶と継続がアニメーションの世界においていかに実践されたのかを、実際の映像を踏まえながら考える力を身につける。
2. 日本のアニメーションが海外と区別されて「アニメ」と呼ばれるに至った理由を理解できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート60%、平常点(毎回の小レポート)40%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書:なし

参考文献

津堅信之 『アニメーション学入門』(2017) 平凡社

5. 準備学修の内容

毎回の授業で、次回に取り上げる時代とテーマを紹介するので、その時代の社会的・政治的な出来事を書籍やネットを使って調べて、時代背景を把握したうえで授業に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

オンライン授業のため、映像の著作権等の関係から、授業内容が一部変更になる場合があります。リンク先から、各自で映像を視聴してもらうことがあります。

7. 授業内容

- 【第1回】 アニメーションとは?
- 【第2回】 東映動画の設立
- 【第3回】 TVアニメの登場と第1次アニメ・ブーム
- 【第4回】 TVアニメの隆盛と東映動画の転換
- 【第5回】 『太陽の王子 ホルスの大冒険』にみる東映動画の転換
- 【第6回】 東映動画を去った男たち
- 【第7回】 少女向けTVアニメの登場
- 【第8回】 スポコン・アニメの流行
- 【第9回】 デイズニーの転換
- 【第10回】 第2次アニメ・ブーム
- 【第11回】 越境の80年代
- 【第12回】 第3次アニメ・ブーム
- 【第13回】 2000年代におけるCGの導入
- 【第14回】 2010年代の革新 —第4次アニメ・ブームはいつ到来するのか?
- 【第15回】 アートとアニメーション